

「子供のためのお金の話」



小学生から知っておきたいお金のこと!

お金は、「ありがとう」の感謝のしるし?

前号は、お金はなぜできたかを調べてきました。今回は、値段はどうやって決まるのか、価格と価値について調べることにしましょう。

主人公は、(男の子)  マナビーくん、(女の子)  キャッシーちゃん
 (おしゃべり解説) 黒猫のドル 

<第二話> 価格と価値の話

 「お金はどうしてできたか分かったわ!でも、値段はどうして決まるの?」

 「んニャ〜、それじゃ〜値段(価格)はどうやって決まるか考えよう!!
 まず、キャッシーとマナビーがラーメンを食べに行くとしよう」

 「ぼくは、博多ラーメンがいいな!」

 「マナビー!ラーメンの種類や味はあとにしようよ」

 「そうだニャ、では、普通のラーメンの材料はなにが入っていたかニャ?ん〜まず麺が必要だニャ、メンマ、チャーシュー、のり、たまご、スープのだし、など買ってきて用意するニャ。この材料がラーメンの値段の30%かかったとするヨ!! あとの70%に店主や働いている人の給料がかかるね、それにガス代、電気代、水道代も必要になるね。これをコスト(原価)というよ。最後にお店の儲け(利益)を入れないといけないニャ。店主はこのラーメンに〇〇〇円の値段をつける事になるニャ。

値段(価格)は食べる人が決めるんじゃなく、お店の人が決めるんだニャ〜〜!」

 「大勢のお客さんが来てくれて、お店が損しないように値段をつけるんだね!」

 「ラーメンでも種類によっても値段が違うわよね。人気のあるお店は高くても行列ができたりするし。」

 「だニャ〜、おいしいから食べたい〜という人がいて(需要)、店の人は喜んでもらおうと一生懸命作ってお客様に提供(供給)したい。この需要と供給のバランスが合う事で、みんなが納得する価格になるだニャ〜」

 「作る人と食べる人が両方喜ぶ値段をきめるといいんだね!! 高くてはお客さんが来ないし、安すぎるとお店が儲からないものね」

 「他の物も見てみるだニャ〜、二人は好きなアーティストのコンサートに行ったことはあるかニャ?」

 「あるよ!!有名なアメリカのグループで、クリスマスコンサートがあったんだ! 楽しかったなあ〜。でも、ちょっと高かったよ」

裏面に続きます。

